

Hara Museum of Contemporary Art

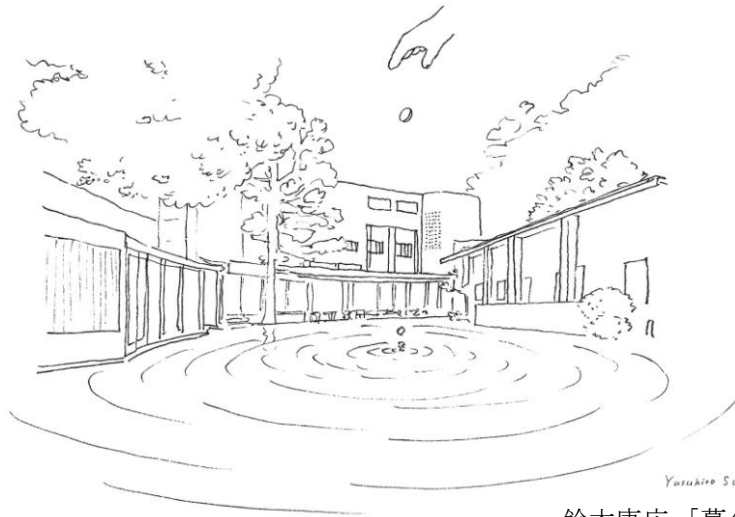
Press Release 2011/5/25

寄贈作品 鈴木康広 「募金箱 『泉』」 公開に伴う 特別展示とトークショウ開催

原美術館[東京都品川区]

東日本大震災という未曾有の震災において、被災されたすべての方々にお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げます。

2011年3月27日(日)の公開を予定していた、寄贈作品 鈴木康広「募金箱 『泉』」は、震災の影響により、制作着工を延期しておりましたが、このたび公開の運びとなりました。なお、「募金箱 『泉』」は、原美術館の活動支援のための募金箱として制作されたものですが、年内に寄せられた募金は、全額、被災地の復興支援のために寄付いたします。また、被災地の状況は刻々と変化しておりますので、寄付先につきましては、年末の時点で精査し、当館で責任を持って選ばせていただきます。



鈴木康広 「募金箱 『泉』」 イメージ 2011年

このたび、原美術館(東京都品川区北品川4-7-25)では、ある篤志家より、鈴木康広による作品「募金箱 『泉』」の寄贈を受ける運びとなりました。「募金箱 『泉』」は、世界にただ一つの募金箱として2011年6月26日[日]より当館館内の壁に設置されます。

この作品の完成を記念し、6月26日[日]より7月1日[金]まで、当館ザ・ホールにて、鈴木康広「募金箱 『泉』」公開記念特別展示を開催、6月26日[日]には、作家本人によるトークショウを行います。

「コインは自分の分身です。それを投入することは、自分自身が原美術館の活動に参加すること—自分の投じたコインによる一滴の雫がその活動に波紋を生み、そこから新しいアートの世界が広がるのです。」と、鈴木康広は語ります。

原美術館の壁の一隅にあげられた一本のスリット。その暗がりへコインを投入すると水音が響き、「原美術館の泉」の映像が映し出されます。コインの種類によって異なる水音や映像が、泉の無限の広がりをおもわせる、ユニークでインタラクティブな魅力を放つ作品です。

なお、映像コンテンツは、将来にわたって原美術館の「現在」を表現すべく、随時更新されてゆく計画です。

※「募金箱 『泉』」は、その性質上、募金された方のみ鑑賞可能な作品となります。

■鈴木康広 「募金箱 『泉』」 公開記念特別展示

会期 2011年6月26日[日]—7月1日[金]

会場 原美術館ザ・ホール

主催 原美術館

展示内容(予定) 「水の切り株」2008年/切り株の形をした容器に水を溜め、水滴を落とすと波紋が年輪に

見立てられる作品。

「目葉の銃」2006年／銃の形をした目葉の容器。目を「撃つ」目葉。波紋を「的」に見立て、必ず中心を打ち抜くことができる。

「遊具の透視法 ミニチュアバージョン」2002年／公園の遊具で遊ぶ子供たちの映像を回転体にプロジェクターで投影。残像現象によって暗闇に半透明な像となって浮かび上がる。その他、パラパラマンガ上映「水のかたち」2005年、モニターとプロジェクターを使用した映像による作品紹介など。

■「募金箱 『泉』」 公開記念 鈴木康広トークショー
会期 2011年6月26日[日] 3:30-4:30pm
会場 原美術館ザ・ホール
主催 原美術館
料金 無料(要入館料)
※予約制。Tel 03-3445-0669 E-mail info@haramuseum.or.jp

【原美術館概要】

住所 東京都品川区北品川4-7-25 〒140-0001
Tel 03-3445-0651 (代表)
Fax 03-3473-0104 (代表)
E-mail info@haramuseum.or.jp
開館時間 11:00am-5:00pm (祝日を除く水曜日は8:00pmまで開館／入館は閉館時刻の30分前まで)
休館日 月曜日(祝日は開館し翌日休館)、展示替え期間、年末年始
入館料 一般1,000円、大高生700円、小中生500円／原美術館メンバーは無料／20名以上の団体は1人100円引 ※開催中の展覧会「ミン ウォン: ライフ オブ イミテーション」もご覧いただけます。
交通案内 JR「品川駅」高輪口より徒歩15分／タクシー5分／都営バス「反96」系統「御殿山」停留所下車徒歩3分。
ウェブサイト <http://www.haramuseum.or.jp>
携帯サイト <http://mobile.haramuseum.or.jp>
ブログ <http://www.art-it.asia/u/HaraMuseum>
ツイッター <http://twitter.com/haramuseum> (アカウント名 @haramuseum)

【作家略歴】

鈴木康広 (Yasuhiro Suzuki)

1979年静岡県浜松市生まれ。2001年東京造形大学デザイン学科卒業。

2001年に発表した公園の回転式遊具「グローブジャングル」を使った映像インスタレーション「遊具の透視法」の発表をきっかけに、NHK デジタルスタジオの協力で「グローブジャングル・プロジェクト」を立ち上げ、日本各地の公園を巡回。その後、Ars Electronica Festival'02 (オーストリア)、DEAF_03 (オランダ)、Liile2004 (フランス) など、国内外の多数の展覧会やアートフェスティバルに参加。紙の葉が空間に「まばたき」をしながら舞い落ちる「まばたきの葉」など、日常のふとした発見をさまざまな手法でかたちにした作品を国内外にて発表している。

2002年からは、東京大学先端科学技術研究センターを拠点にジャンルを越えた活動を展開、昨年は、瀬戸内国際芸術祭2010に「ファスナーの船」を出品し、話題を呼んだ。

また、原美術館では、毎週日曜日運行(2011年6月12日まで／協賛 ブルームバーグL.P.)のアートバス「ブルンバツ!」を手掛けた。東京都在住。

オフィシャルサイト <http://www.mabataki.com/>

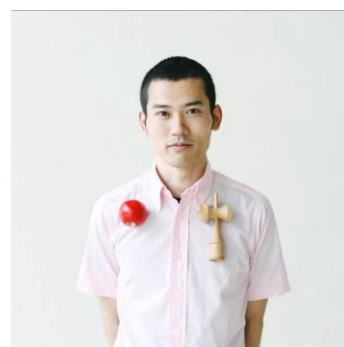


photo: Masako Nakagawa

【お問い合わせ】

原美術館 野田・松浦(広報)／青野(担当学芸員) Tel 03-3280-0679 Fax 03-5791-7630 (いずれも広報直通／掲載の際には代表番号をご掲載ください。) E-mail press@haramuseum.or.jp